

平成29年度TQM発表会報告書

TQM推進部会

日時：平成30年3月7日(水)17:30～18:45

場所：健診センター2階大講堂

参加者：62名

発表：3チーム 発表時間12分

*平成29年度からの活動チーム

◎=発表者

| テーマ | チーム名 | メンバー | 発表内容 |
|---|--|---|--|
| 退院調整のためのマニュアル・チェックリストの見直し ～より良い退院調整のために～ | みんなだいすき T・Q・M（地域 包括ケア病棟） | ◎佐々木利勝 橋本真幸 吉川裕子 細田千秋 吉迫裕子 世羅節子 | 退院調整する上でチェックリストはあったが、活用できていない現状があった。活用できないのは、チェックリストが使いにくいというアンケート結果が出てたため、チェックリストを改良し、周知した結果、使用率が15%から81%となった。しかし、全患者に使用することを目標としていたため、目標達成とはならなかった。今回の活動で退院調整マニュアルとチェックリストを改善した事で退院調整の現状が明確となり、情報共有できることで計画的な退院調整へつながった。 |
| リハビリ・病棟間の 情報共有改善！ ～病棟業務ミーティングに参加して～ | WIN WINでハッピー になり隊（リハ ビリテーション 科） | ◎村山留美 湯浅美聖 田原拓也 槇原伸一 崎元直樹 渡辺昌寿 | 患者情報が共有できず、リハビリスタッフ、病棟スタッフの業務に支障が出ていることから、情報を共有するためにリハビリスタッフが朝の病棟業務ミーティングに参加した。結果、リハスタッフが困っている入浴時間の把握、看護師が困っているリハ時間により点滴がずれる等の時間の擦り合わせができた。しかし、それぞれのアンケートから入浴時間、点滴時間による困りごとの減少率は目標達成には至らなかった。 |
| 緊急シャントPTAに 従事する看護師の負 担・不安の軽減 | シャンシャンPTA （放射線科&外来） | ◎前崎賢治 上前祐太 原田典明 大長弘幸 井上大介 福長芳江 森 真貴 上野幹夫 | 緊急シャントPTAの件数が増加し、看護師から手順がない、経験したことがないという処置介助に関しての不安発言があったことから、マニュアルの改正、勉強会の開催、処置見学等を行った。結果、アンケートから不安減少率は47.3%であったが、目標の50%には達成しなかった。今後、外来看護師が新たに日直、当直に入る前には、事前にシャントPTA、心カテ、造影CT等の研修を実施し不安なく対応ができるよう支援していく。 |

以上の発表を最初から聞いた方に上位1チームを選んでもらい投票、順位を決定した。

1位 WIN WINでハッピーになり隊（リハビリテーション科）

2位 シャンシャンPTA（放射線科）